

ナノカーボン光電極

光触媒とは無縁のナノカーボン研究者が“ある偶然”からはじめた研究を紹介します。カーボンナノチューブはその名の通り筒状の構造で、この筒の部分にさまざまな分子を取り込むことができます。フラーレン C₆₀を取り込んだものが有名でピーポッドと呼ばれます。この内包ナノチューブの反応を調べているときにたまたま変なものが出て、たまたま光触媒能をもっていた、というのが真相なのですが論文のイントロにそうは書けないですね。・・・